

年月日

24 01 31

ページ

25

N.O.

金融もこなす事業会社へ

SMFL<sup>③</sup>

「環境問題の枠内に収まるものでなく、企業や社会を巻き込んだ大変革だ」。三井住友ファイナンス&リース（SMFL）専務執行役員の関口栄は、使用済みの製品を再利用、再資源化することで廃棄物を最小化するサーキュラーエコノミー（循環経済）について、こんな見方を示す。

する企業



3Rをけん引

循環経済の実現は環境制约に加えて、資源枯渇や地政学リスクの高まりといった資源制約の面からも重要な市場の拡大も見込まれており、日本政府は国内の循環経済関連ビジネスを203

実現に果たす役割は大きい。SMFLはグループ力で、設備・プラント処理元請けのSMART（スマート）目標を掲げている。19年

関口は循環経済について、「社会への大きな貢献

ブランド構築

（SMART）（SMFL）

## 30年めど100億円ビジネスに

0年に現状比1・6倍超の80兆円以上に拡大させ方針だ。リース業界は多くのモノを扱い、「3R（リデュール・イングス（HD）とリサイクル）」を設立、23年にアミタホールディングス（HD）とある。サーキュラーエコノミーのSMFLといふブランドを構築した

「サーキュラーエコノミー」のモデル

の管理に活用できることと、社内にデジタル部隊を持つことが差別化の大きなポイントになると自信をみせる。循環経済で扱う素材・商材は、自社のリース物件だけでなく、循環経済で扱うプラットフォームとして、成長ドライバーでもある。サーキュラーエコノミーのSMFLといふブランドを構築した

「サーキュラーエコノミー」のモデル

メーカーと再資源化企業とのマッチング

生産（メーカー）

アセットフォースによる情報管理

リース契約

コンサル

再資源化

使用（ユーザー）

リース契約

コンサル

投資家

回収

静脈ソリューション

リチウムイオン

電池（Li）

B、太陽光パネル、食品残渣（ざんさ）なども検討する。関口は「30年に100億円の収益を出すビジネスに育てる」と力を込める。（敬称略）